



龍溪耆童

九龍溪の老翁の一首



我宗澄のこころの度は老人の道と
あつらひておのれをふかしく入極極れ
よりの龍溪の老翁の一首は精波
の梅香をよせしめしめしめし
真ありしは六宗の風とくそくそ
やしゆりぬるはるるふ風新

卷五

りしきくまのよき子とせよ又いふまはたしめ
極く智かりゆれも好ましくぬまはたしめ
ぬ頭の高風と云ふをせらみ又いふた
代よめされたりし可い合なる付入の字
付めしむ。其一白のくまひを氣中
あらしめんとて各別物と云ふもよ
作ははましむ。其二白のくまひを
其のしむよりせらみ。其三白のくまひを
ぬまはたしめ。其四白のくまひを

時くよはるすりたれと初めの人志
も其附便しし毛吹草山の井の
在代の家通達初めは其の
と云ふ可くわらぬ。其五白のくまひを
其の高風と云ふ初めは人々の
とわらぬ。其六白のくまひを
高風より用ひし。其七白のくまひを
勇不と云核又いふ。其八白のくまひを
ぬまはたしめ。其九白のくまひを

味くしむるべしと。○
よふふらうたの尾十二句の月夜
よふ後しむるべしと。かへ又増補
よふ月夜と星えおるべしと。

書林 栄松軒

あむ付れ仕振

目録

甘菜の海を風まの事

面八句の事

数句切字の事

尚流数句の事

面八句の事

表月夜のある事

表仙の仕振

表十世の仕振

- 一 魚の御并沐祇教教述懐々々傷
- 一 去り始るる
- 一 匂去りの
- 一 人帯衣の御用
- 一 山梨の御用
- 一 衣分の御
- 釘屑目録
- 一 書信に季れ御
- 一 叙

目録終

○ ああ付るる

右流中はああ流の付るるのさうさう
のああして付るるはああからあ
作とあ

^{ああ}秋の露らあ馬持の家

^{ああ}ああも二人ああああ
ああ代のああああああああ

又中世宗因凡の時ハ

そ方のあまのこころハ松の凡

もいふ松のこころいふて付く事
とゆ素よとていふて付く松の
落らるゝとて松の凡は金槍の
しらぬ事

又酒の氣付らぬ

若も夜定は焼らん焼らん

も蒸餅はくても備へるんどの

あは焼らんあはけらん

又

大橋と小橋のあつた方にて

是もも氣はは遠くもはは
もかゝる持のあつた方にて

又少功若くして付く時

又神の月山はあつた方にて

是のそゑの^{コト}嬉^{コト}びふ^{コト}文^{コト}科^{コト}の月
高^{コト}取^{コト}な^{コト}れ^{コト}の^{コト}流^{コト}入^{コト}る^{コト}を^{コト}こ^{コト}い^{コト}と^{コト}を^{コト}
家^{コト}も^{コト}持^{コト}の^{コト}家^{コト}も^{コト}さ^{コト}い^{コト}ふ^{コト}を^{コト}在^{コト}り^{コト}あ^{コト}を^{コト}
か^{コト}ら^{コト}り^{コト}の^{コト}け^{コト}い^{コト}ら^{コト}り^{コト}あ^{コト}り

は^{コト}神^{コト}は^{コト}て^{コト}解^{コト}と^{コト}分^{コト}別^{コト}と^{コト}さ^{コト}く^{コト}一^{コト}苗^{コト}流^{コト}の^{コト}付^{コト}
や^{コト}う^{コト}の^{コト}廣^{コト}く^{コト}て^{コト}は^{コト}ま^{コト}の^{コト}け^{コト}た^{コト}い^{コト}か^{コト}め^{コト}あ^{コト}ら^{コト}
を^{コト}付^{コト}あ^{コト}つ^{コト}て^{コト}さ^{コト}あ^{コト}う^{コト}は^{コト}ら^{コト}秋^{コト}を^{コト}早^{コト}に^{コト}見^{コト}た^{コト}
付^{コト}て^{コト}付^{コト}あ^{コト}の^{コト}枝^{コト}と^{コト}只^{コト}一^{コト}句^{コト}の^{コト}心^{コト}を^{コト}の^{コト}何^{コト}
か^{コト}け^{コト}て^{コト}ら^{コト}よ^{コト}ま^{コト}ひ^{コト}ま^{コト}は^{コト}は^{コト}何^{コト}と^{コト}も^{コト}な^{コト}ら^{コト}ず

色^{コト}も^{コト}海^{コト}の^{コト}物^{コト}は^{コト}わ^{コト}ん^{コト}一^{コト}物^{コト}我^{コト}
心^{コト}ま^{コト}て^{コト}流^{コト}り^{コト}て^{コト}付^{コト}に^{コト}あ^{コト}ま^{コト}ひ^{コト}さ^{コト}り^{コト}
た^{コト}ら^{コト}付^{コト}合^{コト}の^{コト}さ^{コト}を^{コト}あ^{コト}ら^{コト}て^{コト}さ^{コト}あ^{コト}り^{コト}
と^{コト}い^{コト}ま^{コト}の^{コト}あ^{コト}い^{コト}は^{コト}後^{コト}い^{コト}は^{コト}子^{コト}風^{コト}神^{コト}
留^{コト}り^{コト}と^{コト}い^{コト}は^{コト}作^{コト}る^{コト}心^{コト}を^{コト}た^{コト}ら^{コト}ん^{コト}人^{コト}
を^{コト}時^{コト}の^{コト}風^{コト}神^{コト}く^{コト}は^{コト}何^{コト}と^{コト}い^{コト}ら^{コト}ず

○付^{コト}味^{コト}こ^{コト}ら^{コト}ち^{コト}ら^{コト}あ^{コト}ら^{コト}い^{コト}ら^{コト}ず
今^{コト}の^{コト}流^{コト}を^{コト}尾^{コト}十^{コト}二^{コト}句^{コト}の^{コト}月^{コト}流^{コト}母^{コト}て^{コト}あ

お〜〜知るか〜〜
ういの句さ〜〜
あり百秋の〜〜
八つ〜〜

八月〜〜
奥〜〜

本方の秋末〜〜月使

月〜〜

秋八抄〜〜
本方の月〜〜

は〜〜人の〜〜
け〜〜
字月の〜〜
け〜〜
傘カ俵カ〜〜
月母〜〜

たつよそくち方りごとく
船もたれぬべしよかき
て海もくち方りごとく
白く下るよそくち方り

あつたす
あつたす
はつたす
あつたす
あつたす
あつたす

秋の母の
まを
あつたす
あつたす
あつたす
あつたす

秋の母の
あつたす
あつたす
あつたす
あつたす

け敷て紙の裏に
付らるる物さうか

為成持あつておぼろ人

付らわつておぼろの後

し毎れがらりびくひの

里をさるる中つら

多小成と造乃んてそを

多り人書物と付らるる

あしおぼろの
ふさささ

○それたけむを打裁の

あし多小成を

ねと打裁の

白の

て付らるる

○おぼろの

前白よりうゝ気味を

雛ヒナの敷シのころト兒コ静シし

前白をさすを雛の敷と云ふ

始の敷は白くして静し

白くおぼゆるは後のころ

は白くおぼゆるは後のころ

は白くおぼゆるは後のころ

は白くおぼゆるは後のころ

は白くおぼゆるは後のころ

今より現はるるは後のころ

は白くおぼゆるは後のころ

は白くおぼゆるは後のころ

は白くおぼゆるは後のころ

は白くおぼゆるは後のころ

は白くおぼゆるは後のころ

續書は白くおぼゆるは後のころ

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account, consisting of approximately 12 lines of text.

Handwritten text in a cursive script, starting with a large initial 'A' and containing approximately 12 lines of text.

思やばばや方丈の椽



是はかたよのいふことなれど
よとて申すはまことに申す
Westmoreland Thunders
すまはばばばばばばばば
くしりりりりりりりりり

○西へ白ひす

衆のこの書は衆のふりかへ
こちへするよとやとやとや
すかえたるいふ附とあると
とひらきよしと申すやとや
の百とていふとやとやとや
凡の衆のし

○衆のあなこ

やまきりたりとやとや
あはれとやとやとやとや

わん ~~~~~
何心 ^{あはれ} ^{あはれ} ~~~~~
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
現在のは ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}

うく 規 ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
ぬ ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}
—— ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ} ^{あはれ}

てはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

○ 兼てはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

たはよきことなり

信

信徳

信徳

○ くらげのあつらふ歌句

加藤 藤より足 淡路水の乃ん 堤下 如 泉

常の里男 加藤よむ 夕や成 如 夏

稲妻や 二つとよむ 小松原 和 夏

蝶はて 空飛 縁の 垣根 成

のこりにのひて しのつら 風

樹なりしらと 夏句

古池や 樹飛 ぬむ みの名 二 薫

鳥の村 ぬか ぬく 山 様 湖 春

花よけと 鳴ゆ 八重 花の 敷 戸 荒

三春 野八 竹 梅 花 冬 春 夏

け 花よむ なる 人の 上 なる け

け 格 細 心の ころ け 好 じ け

け 然 夕 け け あり

右二點の辨とらうけてすべし

一 脇

右脇は連分のてく辨と多く
扱ふれりし今は大抵段を兼
えおれり又兼てすてわらひ
てよしてまらりてかたを又燈
ひ多れりも澳に宗匠を成しゆり
すべしとれりてよしとあもすべ
しといふハ約字のあてなり

季の時とあてしうりわあはは

一 中三

一 中三てとあてしうりわあはは
ららららとあてりかりしあふとあ
てりかひせぬがよし一 同季の西
段と一 同く内音ふして中三ハ
あてらるる一 段の立春の段を
かゝる段は正月の部才三ハ孫
生ものふよし又三月ふ後うた

とすゆり一まありハ和服長草う
らくおぶの経ヒト中ヒトの二月と
用り抱へる衣杖冬うと経が
根付らうすくた一句のくは
くおとくあたらう人まは
の経と駒ウマちとあおりの牙三上
まのまよするいあれも初心
のうらまは後ウシにまぶさ

おくしていあらんあ二のう
らあつていあつていあつて
一四あり古代はむあつていあつて
とすう法也村おいらすくとも
一句すくともいあつていあつて
いあつていあつていあつて
一五ありこのこみ神あつていあつて
うらあつていあつていあつて

くしとくぐ

一七句め 歳句編并二三月あくはけ
 月の常座へ秋の月と結ふ他
 の歳句の月とくくくく
 一八句め 七月あき月あきくく
 のれは家よ月とくくくく
 くれ月とくくくくくくくく
 け

一八九句め 色に清く人教体懐秋

狹名下古人の名 回名字回字
 神狹とも 熱く次 大黒の狹秋
 加ゆらびくく 又歳句ニ狹秋
 入名及く名所ああらの秋も
 す

一 表十句句 十二句め 秋の常座と
 又十句め 秋のあき月め
 秋の常座とすくあかり

二の裏十四句 物しら十四句の流はあ
三句十四句 右はあ

一花持のうら八句 月さめ七句
花の常座之句ヒの付とや
してヒのヒの花とや句よ
席のヒと月を交中うけす
えあひのの句の句よ
と

○ 花仙乃仕ぬ

一 花仙ヒ乃仕ぬ
うら十二句 名持ヒらうら十二
句うら七句よとヒと二十
句く月ヒの海うら十一句
め花句又句め月の常座ヒの
うら七句よと月ヒの石の
名持うら七句よと

カ、も、と、は、ま、の、世、よ、み、ら、れ、る、は、
河、の、紙、は、ま、よ、あ、く、

野鳥 幼、孫、地、子、。 勢、勢、地、川、行、の、あ、る、
ひ、ま、。 紙、子、ま、く、え、ん、の、好、ま、い、の、

養完 寺、ま、え、ん、。 町、ま、え、ん、

娘 幼、少、の、ら、ま、い、無、子、あ、ら、は、十、と、婚、
不、婚、 傷、達、婚、可、と、

坊入 坊、と、半、年、し、ら、し、ら、り、
あ、ま、あ、く、

女 とも、か、り、も、ま、よ、あ、く、し、ら、し、ら、り、
く、ま、く、く、ま、く、く、ま、く、く、ま、く、く、
嬰、切、女

妻 け、り、あ、い、人、 新、後、家、

髪 髪、の、何、ま、あ、ら、あ、い、わ、く、の、皮、後、ま、く、
髪、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

髪 神、の、ら、り、も、と、あ、ま、ま、
梳、を、并、

枕 枕、の、あ、ら、
二、つ、枕、か、く、は、枕、。 長、枕、

別主^{キタ}衣^{キタ}くむ言^{キタ}の^{キタ}くら^{キタ}

言^{キタ}文^{キタ}系^{キタ}
後朝の冠

ひの渡^{キタ}の糸^{キタ}の^{キタ}紐^{キタ}

笑^{キタ}り^{キタ}の^{キタ}糸^{キタ}は^{キタ}ら^{キタ}ら^{キタ}る^{キタ}。

いと^{キタ}よ^{キタ}く^{キタ}わ^{キタ}ら^{キタ}ま^{キタ}る^{キタ}。後^{キタ}ら^{キタ}ら^{キタ}る^{キタ}。

怪^{キタ}達^{キタ}は^{キタ}ら^{キタ}な^{キタ}る^{キタ}。

人^{キタ}月^{キタ}人^{キタ}月^{キタ}の^{キタ}雲^{キタ}人^{キタ}月^{キタ}志^{キタ}の^{キタ}人^{キタ}月^{キタ}志^{キタ}

神^{キタ}祇^{キタ}乃^{キタ}神^{キタ}祇^{キタ}の^{キタ}河^{キタ}の^{キタ}令^{キタ}て^{キタ}れ^{キタ}ん^{キタ}で^{キタ}は^{キタ}第^{キタ}志^{キタ}之^{キタ}也^{キタ}

物^{キタ}の^{キタ}心^{キタ}は^{キタ}ら^{キタ}な^{キタ}る^{キタ}。

也^{キタ}好^{キタ}く^{キタ}人^{キタ}を^{キタ}男^{キタ}。も^{キタ}ろ^{キタ}も^{キタ}男^{キタ}。も^{キタ}ろ^{キタ}も^{キタ}男^{キタ}

恨^{キタ}の^{キタ}山^{キタ}。恨^{キタ}の^{キタ}海^{キタ}。は^{キタ}ら^{キタ}ら^{キタ}な^{キタ}根^{キタ}。は^{キタ}ら^{キタ}ら^{キタ}な^{キタ}

好^{キタ}く。も^{キタ}ろ^{キタ}も^{キタ}男^{キタ}

かろろ ころろ

及知の立 うしひら。かしら。かしら
千房よえちかし

ころろ ころろ めい

妻 ツメ 妹 イモ 侍者 ツツヨイ 侍

夜 ヨ 夜 カラス 夜 カラス 夜 カラス

たつたろろの中はくくもたつた
とらんももあり

安 カラス 安 カラス 安 カラス 占 ウラヒ 占 ウラヒ

形 カタ 形 カタ 出家 シツケ 出家 シツケ

叶和連分の相もまき一御控
しもとつちりつくるあめ
おきつとらんも倍すらん
あのかつたの御控よおのこ

精進

あまのり

あまのり二つが又なるゆへにすつ時を
れは今ハ二つあて控へるぢりふ
とあまのり二つが又なるゆへにすつ時を
よりのあまのり二つが又なるゆへにすつ時を
しるあまのり二つが又なるゆへにすつ時を
精進あまのり二つが又なるゆへにすつ時を
しるあまのり二つが又なるゆへにすつ時を

あまのり二つが又なるゆへにすつ時を

あまのり

あまのり二つが又なるゆへにすつ時を

あまのり二つが又なるゆへにすつ時を

あまのり二つが又なるゆへにすつ時を

あまのり二つが又なるゆへにすつ時を

鳥居のついでに法をかり

かきつらぬくしんじゆのふりかへ

けしんあへくまのあつこい

く知那のまじり

○神祇の詞

宮 久井 古久 野久 小久

社

古社。昔社。板の心社。ワの心社。まの
の心。新の心。法社。法及。末社

網

鳥居 上り井 新の心井。昔の心井。久の心井
も井。石の心井。金の心井

甲乙の心井

の心井

冬垣

新の玉垣。昔の心垣
昔の心垣。昔の心垣

一こつ垣

かきつらぬくしんじゆのふりかへ

法教 法信教 法信教 法信教 法信教

法宜 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信

法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信

法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信

法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信

法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信

法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信

法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信

法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信 法信

○尺教の詠

寺

儀也。標也。念也。寺也。角也。里
寺。山寺。松の角也。花の角也。對也。か
くも。寺也。古寺。新寺。次也。
御也。寺也。如也。

けかり。不寺。れ。

堂

後也。草也。古也。新也。
屋也。堂也。ゴ也。寺也。終也。カ下也。

伽藍

狝也。狝也。法也。

塔

又也。三也。峯也。洞也。九也。滿也。
也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。

廻廊

序下。中。大。小。り。突也。

奥院

也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。

出家。也。也。也。也。也。也。也。也。也。

僧

老僧 多僧 福僧 鉢僧 年僧
英僧 名僧 遠僧 古僧

寺シ

寺中 寺家 塔中

門カ

院家

國師 禪師

衛師

侍錄

長元

聖人

和尙

西堂

東堂

齋座

慈王

典主

書記

行堂

阿舍利

僧正

僧都

法印

法眼

挨拶

碩学

けり侍官宗有くはわりの
も客入教之御簿の者又客入
へつものくはわりの

○述懐之謝

若かりし。親子のりよ古く先づ聖徳の能

世とのくれ。世と擗ル。昔人の徳。徳。徳。
大方は久きを神に
多き。念。念。念。念。
いかにうらまへし。念。念。念。念。
念。念。念。念。

○多き傷

化野

帝の徳。かゝる道。古。古。
念。念。念。念。
念。念。念。念。

死の海。人。人。人。人。
人。人。人。人。
人。人。人。人。

念。念。念。念。
念。念。念。念。
念。念。念。念。
念。念。念。念。

○去りぬる事

念。念。念。念。
念。念。念。念。
念。念。念。念。

二万去

念。念。念。念。
念。念。念。念。
念。念。念。念。

ひびおと虫や武くろくろり生経二
夕まき鳥と笑朝雨多く交阿多
二句と 月日星雲ありて久家
の号二句と

○三句去リ

山登水登 生経
神抵足教 解 字 常 活 不

ひびおのく
ひびおのく
ひびおのく

同字 旅 神 夜 分 雨 夕 胡と船
夕と夕

凡 凡 夜 夜 夕 雲 中 夕 極和ら
夕と夕

○六句去リ

解 松 舟 夜 枕 竹 夜 極
燦 田 同 季

○人倫

聖上人ヒヤ 聖上人ウキ

と云ふ人倫ウキ

武士シ

兵シ

下シ

下シ

邦キ

と云ふ人倫ウキ

僧シ

法シ

尼ニ 比丘尼ウキ

僧シ

筆シ

醫師シ

仏フ

と云ふ人倫ウキ

農人シ

醫シ

と云ふ人倫ウキ

商人シ

四シ

識人シ

御ミ 御ミ

猿樂シ

役者シ

公コ 公コ

船フネ 船フネ

座ザ 座ザ

家ケ 家ケ

月ツキ 月ツキ

益イキ 益イキ

賊ゾク 賊ゾク

右人の我れ内身と云われ外は他人也

○兆人倫分

奉行 仕立。目代。月代。石代
 儀 先。ん。く
 儀 先。ん。く
 人形 人形
 大工 大工
 月 月
 目 目
 親 親
 〇居所の分

家 戸。門。階。天井。窓。城
 座 座。座
 庵 庵。庵
 庭 庭。庭
 外 外
 面 面
 簾 簾
 通 通
 窓 窓
 布 布
 〇居所の分

山

三子 坂。岩。岩。他。冠。上。集

日用れ分

炭電 搦 拙本

山類の分

山よりの開 あみ坂の突 野村の堂 山

名よりの山 白川の突 野村の山 山

カウラキ 葛城 久々島のうー 富士

ハナ 漢 ハナ 漢

兆山類分

シニ 鶴 海 三子 鳥

カミナ 山科の突 カミナ 山 カミナ 山

カミナ 山科の突 カミナ 山 カミナ 山

舊
新

の奥の 小野 小野の奥 小塩 小塩の奥

木曾 木曾の奥 山 山の奥

猿 猿の奥 石橋 石橋の奥 三 三の奥

水室 水室の奥

水邊 水邊の奥

海 海邊の奥 泉 泉の奥

川 川の奥 池 池の奥 井 井の奥

みぞ

水邊用之分

水 水の奥 穴 穴の奥 陶 陶の奥 塩 塩の奥

波 波の奥 氷 氷の奥

水邊用之分

船フネ 筏ワカ 浮木ウキ 浮桶ウキバケ 塩屋シホヤ
流ナガレ 蛙カエル 怪燒カキヤク 魚イサ 網アミ

釣ツリ 籠カゴ 下シタ 掘コグ 釣ツリ 垂タラシ 海人ウミナリ

蛸タコ 壘ツツ 藻モ のノ 糸イト 和布ワフ のノ 糸イト

水ミヅ 島シマ のノ 分ワケ

浪ナミ 浦ウラ のノ 閉トジメ 晒ヒラキ 石イシ

汐シホ 寺テラ 上ウヘ 橋ハシ のノ 松マツ 橋ハシ

志シ 加カ 丸マル 松マツ 沖オキ 緩ユル 沖オキ 緩ユル 田タ

井イ 月ツキ のノ 町チヨウ 一イチ 个コ 雞トリ 皮イダ 津ツ

三サン 端ハタ ケケ 橋ハシ 杉スギ 橋ハシ

兆チヨウ 水ミヅ 邊ヘリ 分ワケ

天テン 浮ウキ 橋ハシ 對タイ 面オモテ のノ 浮ウキ 橋ハシ 橋ハシ 川カハ 三サン 軒ケン 川カハ

龍

苗代 大シロ 田のくげの 難波の 志賀

佐吉 スジキ 大井 湯ヶの三池 明 アキラ

石の器 イシノウツ 松浦 マツウラ ありびが糸

白川の宮 サキ 秋の市 アキノチ 月のみ ツキノミ 祝 イハヒ

布 ヌ 室の八将 ムロノヤシロ 室の ムロノ

海 ウミ 小回 コウキ の標 タビ 助 タスケ

龍 リウ 龍舟 リウジュウ の海 ウミ

夜 ヨ 介 ケ 丸 マル 洞 ドウ

著 クニナ 著 クニナ 丸 マル が 丸 マル あり アリ

別 ワケ の 名 ナ 別 ワケ の 名 ナ

燈 チ 燈 チ 燈 チ 燈 チ 燈 チ 燈 チ

床 ト 床 ト 床 ト 床 ト 床 ト 床 ト

草延ハナハシけす
 庭鳥ウツクり
 雛ヒナ待マツ七ナナ夕ヨ
 和ふニろニろニ錦ニ
 鶴ツル鳥ト

詠諧手斧屑 四季之詞

○春 青陽 青帝 陽春
 蒼天 東君 詔光

正月 びりき ちのちる月 初元月
かとしをあら月 太郎月

元日 けさ乃春 ちのちる日 初元日
こののをとめ ちのちる

朝アサ 年頭 元節 歳旦

元三ニ元三ニ祭マツル
 改曆 年トシ 節マツル
 元心乃ニ元心乃ニ時トキとトくクきキ屬ゾク

目ととも入天地は方乃山後と病いあふり

○齒固 カカク 色らむかみ 澆然能 齒未

○屠蘇 白散二日 度瘧散 三日

○朝賀 然ね 小致拜 群はの拜乃より之

○元日節令 水様 肢赤 國柄 國柄

○紙園 げんりけいれ 赤る 寅の刻

○昆沙門のくま 終 能

○門松 せそ松 かがり所 かがりまら

○み水 かがりの炭 ねほこまり

○蓬萊かざる 能 かしまのこ

○たろご 能 土佐目

○なうぬと 能

毬打

毬袖よりちるる白よりく日玉を茶

のたまは流く

胡鬼の子日

破魔弓

破魔矢日

弓くく先日るのりそめ

飛るる

きし我とくしめ

ひるいそめ

初夢

あり初夢

去年

今年

およひの

年他

曆ひらき他松ちや

他

とる約

か歳樂

日硝哥節のま

余情

鳥退

日杞さぐり

日三日月の雨と

昔い糸つじ日いぬのぐる

日元三の夜起

げさう又夢

枕符

枕板 枕梗

茶樽思の二針とくまこ内より直るるあり

初子月 子日乃あそび 小松ひく

若菜 初まら 七ふく まらふ そこ

すくろ すくろ すくろ すくろ すくろ すくろ すくろ すくろ すくろ すくろ

初寅系 能 ぬ これろ 日との寅の日

卯杖 卯杖 朝勤行幸 二月あり 天子の年

格よ上皇并ふ母后の宮へ 叙位 五月或六 六月後

官の叙 官の叙 白馬節會

次水に叙 七月あそび 菜摘河津奉 能七日 吉野

むつての 院 院 院 院 院 院 院 院 院

常陸 常陸 十日 常陸の

夷祭 夷祭 縣召の除目 十一日あり 三月あり

あつ 男 磯 哥 十は日 あ あ

四季
四季
四季
四季

のまゝの女踊哥ハ
十六日れ教あり
長吉書
わがら
上元
十五日
御
十五日
御
十五日
か也

の本
クセつ名
女の舞とさへり蔵あり

賭引
十八日
天子引湯殿中
厄祓

まのり
九月
具足の境より日
内宴

六十一日仁壽殿
御忌
十五日法徳上人
福壽

ぐさ
他え日
東風
氷さらる
氷まらる

わそとらる
他
魚抄よのぼる
月令

雪さらる
他
雪のころ
雪のころ
雪のころ
他

高あられ
他
本れ目
下もえんく

たち
他葉花
あ草
初草
よの光が

くら
日
梅
け茶

四季
四季

白ひ草 香真あつんまの冬に至梅定梅 臘

柳等のみ皆春あり

柳 ^{ナキ} あとやさ 風を草 川をひ草。目より

学 ^{ウツヒス} 白ひ草 神社 ^{ウツヒス} 琴の琴 ^{ウツヒス} 笛六

依保 ^{ナカ} 三 ^{ウツヒス} 会保 ^{ウツヒス} 三 ^{ウツヒス} 三 ^{ウツヒス} 三 ^{ウツヒス} 三

かぶ水ぬるび あらう ^三 三 ^{ウツヒス} 三 ^{ウツヒス} 三 ^{ウツヒス} 三

梅ぐえうふ ^青 青 ^{ウツヒス} 青 ^{ウツヒス} 青 ^{ウツヒス} 青 ^{ウツヒス} 青

松乃花 ^{ニッ} 松乃花 ^{ニッ} 松乃花 ^{ニッ} 松乃花 ^{ニッ} 松乃花 ^{ニッ} 松乃花 ^{ニッ}

ふのこどり ^{カニ} 三月より ^{カニ} 三月より ^{カニ} 三月より ^{カニ} 三月より ^{カニ} 三月より ^{カニ}

野老 ^ト 野老 ^ト 野老 ^ト 野老 ^ト 野老 ^ト 野老 ^ト 野老 ^ト 野老 ^ト

洞 ^{ホラ} 洞 ^{ホラ} 洞 ^{ホラ} 洞 ^{ホラ} 洞 ^{ホラ} 洞 ^{ホラ} 洞 ^{ホラ} 洞 ^{ホラ}

〇二月 ^キ 〇二月 ^キ 〇二月 ^キ 〇二月 ^キ 〇二月 ^キ 〇二月 ^キ 〇二月 ^キ 〇二月 ^キ

初年 ^{ハツ} 初年 ^{ハツ} 初年 ^{ハツ} 初年 ^{ハツ} 初年 ^{ハツ} 初年 ^{ハツ} 初年 ^{ハツ} 初年 ^{ハツ}

春日祭 カスガニシ 上申日 是未日 近傍中におる勅使

大系野祭 オホヒラノ 上野 古野の餅くらり

二月一日 蕨の密 アヅキ ちりより 遺教院 ユヱウケン 佛

佛の別 ホトケ 二月のころ也

精落 シヤク 十六日 或石

朧月夜 ヲホロツキ 天王寺 聖靈舎 セウレイウヤ 六二

鷹化 タカカ して 鳩 トビ 蛇穴 カチヌ と びる

継尾 ツキオ の 鷲 タカ 白尾 シロキ の 鷲 タカ 秋忍 アキニ 春忍 ハルニ の

白羽 シロハ を 継 ツキ 入り 尾 オ と 春 ハル 己 ミ の 尾 オ と 春 ハル と 忍 ニ びて

鳥の巢 トリノネ 古巢 コネ の 轉 マシ 雛子 ヒナコ

きくす人多 キクス人多 朝 アサ 春乃 ハルノ

燕 ツバメ 巢 ネ 白鳥 シロトリ

未 ミ 始 ハジ め メ して シ る ル と ト する

良よ海も唇カリ 唇の名所ナカク 唇のころれ

雲ハ 桂ハ ひざり 笛ハ うそ 桃ハ こ 海老ハ 日

蝶ハ 胡蝶ハ 蜂ハ 日 巢ハ 蛇ハ 蛙ハ 雨 日

いとハ 糸 あ ふ 猫ハ さ う 家 能 猫 の

初ハ 鮒ハ 他 さ う こ 日 飯ハ 蛸ハ 他

志ハ み 日 す て 日 田ハ 蝶ハ 日 初ハ 雷ハ 日

雷ハ 日 初ハ 稲ハ 日 びハ り 目 初ハ 様ハ 糸 様

津ハ ぎ 本 能 苗ハ 代ハ 蔓ハ 日 焼ハ 野ハ 山 と

芝ハ と ま と ろ の 蔭 ハ 畑ハ 庭ハ 畑 と

苗ハ 代ハ あ は 糸 苗 代 よ の ま う る あ よ

種ハ あ く の 麻ハ あ く う と 能 う え い 日

出ハ 菜ハ 日 茶 あ え 茶 日 防ハ 風ハ 日 さ お

たばはぬ あまの茶を云 茶がらうらうらき

草の目りえ あまの茶 蕨 角を

芦 あまの茶 たんりく 桃下 筋 日

菫 日 辰 あまの茶 海雲 日 紙葦 あまの茶

〇三月

巳の目れらへ 春おし月 季末 上巳水もあてそへて

曲水の宴 桃の節 桃の節 桃の節

合色日柳登日 桃花 薬師の家

勝負 七日天武天皇 猿花祭 井底

木ころも 寒食 冬 介子推が故 鞆

鞆の戯 半仙の戯 定 会の日

住者の塩干 出佐の節 辰 辰

他三月ニ石山祭ニ他ニ粟津祭ニ他ニ

水尾祭ニ九日ニ花ニ良ニ

祭ニ他ニ壬生念佛ニ他ニ傍ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

他三月ニ石山祭ニ他ニ粟津祭ニ他ニ

水尾祭ニ九日ニ花ニ良ニ

祭ニ他ニ壬生念佛ニ他ニ傍ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

乃花のニ遠草祭ニ十日ニ淨身ニ九ニ

素子クワコ 新素摘ニヒタ 桃モモ 地桃地 緋桃緋

山様ヤマサマ 花の類ハナノルイ 花の綿ハナノワタ 花乃ハナノ

雲クモ 花の香ハナノカ 花の枝ハナノエ

花乃玲ハナノレイ 花乃ハナノ 花乃ハナノ

車クルマ 花乃ハナノ 花軍ハナノイクサ 花乃ハナノ

梨の花ナシノハナ 山ヤマ 梨ナシ 海棠カイドウ

物モノ 卒夷ソウイ 躑躅ツツジ 山吹ヤマブキ

醉スイ 木キ 瓜ウリ 花ハナ 船フネ 沉シヅム 丁チヨウ 花ハナ

木蓮花キレンバナ 石南花イソナバナ 蕨ワレ 方カタ 花ハナ

小米花コメバナ 花ハナ 海ウミ 花ハナ 花ハナ

馬醉木ウマスイキ 花ハナ 杏コウ 子コ の花ノハナ 檜ヒノキ 花ハナ

柳ヤナギ の花ノハナ 楊梅ヤナギ の花ノハナ 東ヒガシ の花ノハナ

あらしせ 能わさ 統麻祭 一月或八物の午日

稲荷祭 初の午 山科祭 上巳の 松

尾祭 酉の 當麻祭 上乃 瀧佛 八

仏舎舎 慈花舎 日吉祭 中乃 賀茂

五香水 俗佛 糸 中乃 千团子 桃十 碓氷祭 能中乃

柿 柿 柿天 孟夏の 麦代秋風

鑲秋 能 麦 麦 ぬるん茶 乃茶

多貴茶 より 芍薬 あひと茶 杜 花の宰相

茶 茶 射干 日 蕃薇 日 罌粟花 午日

一八 能 射干 日 蕃薇 日 罌粟花 午日

茶 茶 射干 日 蕃薇 日 罌粟花 午日

の茶 茶 射干 日 蕃薇 日 罌粟花 午日

のよき葉 イロハ 弓くさ葉 イロハ 葉 イロハ 友木立 トモキ

杉 スギ 桐の花 キナノハナ 他 ヒ 美人草 ビニシ 他 ヒ 梅 ウメ 葉 ハ

の人 ヒト 他 ヒ 招龍の葉 キリコウ 待 マ 花 ハナ 二用 ニヨウ ちりて チリテ あり アリ

花 ハナ 日 ヒ 風 カゼ ぐる グル 海 ウミ 日 ヒ ま マ 海 ウミ 日 ヒ ろ ロ ろ ロ

花 ハナ 日 ヒ 山 ヤマ 昔 キナ の ノ 葉 ハ 日 ヒ 厚 カウ 朴 ホク の ノ 花 ハナ 日 ヒ 菽 シク 枝 エ

日 ヒ 櫻 ウツギ 櫛 シ の ノ 花 ハナ 日 ヒ 櫛 シ の ノ 実 ミ 日 ヒ 実 ミ 櫛 シ 竹 タケ 乃 ノ

子 コ 大 オホ 入 イ 子 コ す ス の ノ 子 コ 他 ヒ 岩 イハ 梨 ライ 日 ヒ 落 ラク 日 ヒ

葵 アオイ 日 ヒ 蓮 レン の ノ 葉 ハ 日 ヒ 根 ネ 日 ヒ 郭 カク 公 コウ 他 ヒ 田 タ と ト 公 コウ

加 カ ん ン こ コ 他 ヒ ぐ グ ん ン 多 タ 日 ヒ 藤 フジ 原 ハラ 在 イ 佳 カ 日 ヒ ま マ 多 タ

編 ヒ 幅 フ 日 ヒ 麻 マ の ノ 葉 ハ 日 ヒ 用 ヨウ 日 ヒ と ト 名 ナ 他 ヒ 飯 イ

鯨 クジラ 葉 ハ 日 ヒ 棒 ボウ 振 フリ 虫 ムシ 他 ヒ 蚊 カ 蚊 カ 在 イ 帳 チヤウ

他 ヒ 卯 ウ の ノ 花 ハナ 衣 イ 履 リ 虫 ムシ 他 ヒ 友 トモ 入 イ

いらこの敷 捧あり合佛

○五月 さつき 月入を月 夫ち花月 仲夏

賀々々々足持 能あまの 松を祭ツリ 日

あやめゆくと日 イセ 月信早山の山

周より来て 葛蒲 永き根 葛蒲刀 菜

玉 玉の玉 玉命 玉命 條達 辟兵 辟兵

菜目 五月と 菜草摘 百葉摘 艾人 人

虎粉 鹿の 百葉をとたてり

つえ 位吉の田種 桃元 八月 笑々々々

馬蜂乃初声 鳥の 入 月令 志

こまがる 花うさ 藤 のま 藤 とりる

藤刈舟 めを刈 草代志 百合 是ゆ

さゆり 柘榴カクロの花 浅アサりシるルを びん
みのを さるルのノを 家湯草アサヤ
らの末摘スミタケのノ志シをシてテ花ハをハ花ハ
下野シモツノの花ハ 石菖イシキョウ 日ヒ 金銀花キンギンカ
蕙ケイ標ヒラキの花ハ せんセンのノをハ 天蓼テンリョウ 桃モモ 加カ
さみのを 日ヒ 早サ松マツ草クサ 日ヒ あらアラのノ日ヒ 苺イチゴ

茄子ナス 日ヒ 浅アサ瓜ウリ 日ヒ 南天ナンテンの
花ハ 日ヒ 浅アサきキ 薄ウス 日ヒ 生ナマ胡コ桃トウ 日ヒ 柳ヤナギの
花ハ 日ヒ 橘ダイダイ とト 山ヤマ 柘シ のノ 花ハ 日ヒ 杏コウ子シ
杏コウ子シ 日ヒ 枇杷ヒナ 日ヒ 山ヤマ 椒シ 日ヒ 瓜ウリ 日ヒ 瓜ウリ
子シ 日ヒ 青アヲ田タ 日ヒ 田タ 日ヒ 瓜ウリ 日ヒ 栗クリ
日ヒ 佛ブツ 稗ヒ 日ヒ 胡コ 菜サイ 日ヒ 菘ス 日ヒ
以モ 五イ 月ゲツ 八ハチ 月ゲツ 菘ス 日ヒ

蛭能 蚊カ 遺火ヒ 水カ 鳥カ 巢ス 黒鴨カ

魚ヤ 巢ナ 水ミ 鵜ウ 川カ 舟フネ 鮎アサギ

藤カ の子コ 獸ケモノ 狩カ 鶯ウラハ の巢ネスト 小鰻コウナギ

水ミヅ 鱧ハモ 日ヒ 魚イサナ 鱧ハモ 日ヒ ひととおヒト こびりコ 日ヒ

蛇ヒ の衣イ ぬぐグ 懸ト 針ヘ 火ヒ 串クサ

○六月 三ヶ月 九日 常ト 月ツキ

氷ヒ 室ム 氷ヒ の木キ の氷ヒ 室ム の氷ヒ 一ヒト 杯コップ 酒サケ

六月ム 會エ 胃イ 腸チウ の 祇園キエン 會エ

十ト 日ニ リ 多タ 融ユク 院イン 天テン 延エン 津ツ 橋ハシ 糸イト 尾ビ 州シュ 芳ホウ 田テン

糸イト 龍リウ の 池イケ 糸イト 龍リウ の 山ヤマ 王オウ

糸イト 龍リウ 十ジュウ 庄シヤウ 氏シ の 涼スズシヤ 九ク 月ゲツ 富フ 士シ 指サシ 針ハリ

市チ 糸イト 龍リウ 糸イト 龍リウ 糸イト 龍リウ 糸イト 龍リウ 糸イト 龍リウ

とト 糸イト 龍リウ 糸イト 龍リウ 糸イト 龍リウ 糸イト 龍リウ 糸イト 龍リウ

竹切キリ那ナ友トモ祿ロク系ケイ温オン風フウ今イマ意イ孫ソ流リウ

ふとと夢ユメの月ツキ腐クサ草クサの堂ドウとふのノ銀ギンあり

き月ツキ夕ツキ立タテ白シラ雨アメ驟ソウ雨アメあをアヲ流リウあ

じとふジトフ麻アサ簞タテ抱カキ笏カク人ヒト皆みなたき

霧キリの風カゼ薰カス雲クモ北キタ峯ミネ麻アサ地チ石イシ能ノ

あろアロぬとヌトとトころコロ友トモ切キの茶チャ能ノ川カハ

狩カウ日ヒ煮ニ梅ウメあアりリ子コ柳ヤナギ揚ヤ梅ウメ日ヒす

日ヒ林リン檜ヒノキ百ヒャク日ニチのノ日ニチ松マツ子コ石イシ竹タケ

蓮レン花ハナ菖ショウ蒲ボ慈ジ菇コ能ノ河カハ骨ホネ日ヒ菱ヒシのノ花ハナ

夫ウツ秋アキ蒲ボのノ穂ホ能ノ海ウミ松マツ蒲ボとト川カハ

能ノ植ウエのノ秋アキ花ハナ映エビ線セン花ハナ日ヒ眼ガン皮ヒ日ヒ後ゴ霄セウ

花ハナ日ヒ様サマ探サシ子コ日ヒ玉タマ簀ボウ日ヒ死シ日ヒさサるル人ヒト夢ユメ

しりくのみ花日 かりす麻日 香葉切

香葉切 蒜の根日 糸蘇日 鬼灯

麻瓜 口西瓜 瓜瓜 夕秋 干瓢りく

豆秋の祀日 小角豆日 福りいりり

雲雀水あしそ 蟬 蛸のあけら 飛うつそ

友虫 糸とこらんとよむハ 蠓 秋の

隣 秋ま 樹香

○七月 七日月 みるり月

一葉い ひと葉の舟 桐 柳教 小野

御水 育 七夕 あさか ね たきぬ娘

いこが 河鼓 あ海の川 根河 星何

素び久舟 伝まら 舟 藤橋 秋

四季 七

八辨

たのびの枝ひ能

小野

日 法

さ陸

土日 いちふることあるの

乙信乃故也 舎能十五月

名月

名もさ月一 ぶひの月 小室月時三月時五

判之月能 十之秋の月

立

まらの月十七日 唇すらの月時八

や一俗の月

時九

月乃弓 弓張月

約途 冬月の約 一乃赤の約・信能

狗牽

の牧の狗牽八廿一八十八日ありしと云 崔沈乃伝云云ありをれは近代八十八日ありし

七月八甲製七日八武云元正二月八信能の二月八

仇了十七八月ハ

上飛 延喜云

初子系乃考取

新田姓秋の之

おひ 秋の宮

中宮のゆり之 但三月よ伝え

芙蓉

他乃芙蓉 茶草

芙蓉と云ハ 蓮之友

本原の花

月一乃 桂花

葡萄

日山

えひ 花能

スキキ 志の尾花

外萱

花は系

檀特花能

志と伝の志と云

所新

露茶能

葛 葛の根

草此之付

和

葉

花壇ヒナ他野菊ヒナ他鷄冠花ヒナ日菜ヒナ

金剛菜ヒナ日ヒナかまのくの花ヒナ厚朴ヒナ

韃靼ヒナこぶぎヒナ他ヒナ橘ヒナ橘ヒナ日ヒナ葡萄ヒナ

穂蓼ヒナ日蓼ヒナ曲香ヒナ日ヒナ加らす瓜ヒナ

芋ヒナ日ヒナかりやとヒナ日ヒナ菜ヒナ他ヒナ木ヒナ

綿ヒナ日ヒナこくたヒナ日ヒナ鬼灯ヒナ

葉ヒナ樺ヒナ日大根ヒナ日ヒナ夜ヒナ

礎ヒナ日ヒナ藜ヒナ日ヒナ老ヒナ

料ヒナ日ヒナ燕ヒナ日ヒナ緋ヒナ

鷹ヒナ日ヒナ他ヒナ日ヒナ日ヒナ

世ヒナ日ヒナ日ヒナ日ヒナ

小ヒナ日ヒナ日ヒナ日ヒナ

四

世

まひの西 初ハツ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ
 春ハル 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ
 野ノ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ
 田タとト 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ
 狐コ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ
 なナるルこコ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ

○ 九月 子シ月 卯ミ月 小田コタ月
 泉イ涌ユ古コ舎ヤ利リ舎ヤ 八ハ月 重シ陽ヤ宴エン 重シ九
 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ
 祭マツリ 九ク日 貴キ布フ祢ネ祭マツリ 日 出イ延エン祭マツリ 日 日
 尾ビ宮ミヤ祭マツリ 十ジ日 尾ビ吉キチ市シ 十ジ三サン日 室ムロの市シ 候ケ
 の祭マツリ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ 葉ハ葉ハ

他十 祢田の祢祭 十五日 忌傍祭 他日

具眼祭 十八日 八幡祭 の

城南祭 日 野比宮乃別

撰忠 上人 崔蛤と

あつ 月 豺獣とみあ

月 お 今 お 秋あり

梅 お 梅 お 木教

松 お 松 お 万本実

他 お 之 お 万本実

浪杏 お 推 お 黄 お 櫟 お

蜜柑 お 金柑 お 柚 お

雲州橋 お 佛 お 柑 お

楫櫛 柘榴 樞 胡椒 梨
あうり ナツ ハ コ ナ
 備梨の實 梨 椽の實 椽の實
ナツ ハ コ ナ
 椽 椽 椽 椽
ナツ ハ コ ナ
 實 日 椽の實 日 たるの實 南天
ナツ ハ コ ナ ナツ ハ コ ナ
 の實 日 椽の實 日 たるの實 南天
ナツ ハ コ ナ ナツ ハ コ ナ

野山の綿 杉 檜 松 竹
ナツ ハ コ ナ ナツ ハ コ ナ
 思ひ草 えやと草 能紙すき
ナツ ハ コ ナ ナツ ハ コ ナ
 まめひく日 苺 薺
ナツ ハ コ ナ ナツ ハ コ ナ

茸日てお茸日る冬にけ日ニノ十日 松露ニノ十日
 いらら日角茸日ニノ十日 柳茸ニノ十日 松露ニノ十日
 八まもある 運ニノ十日 柳茸ニノ十日 松露ニノ十日
 のあり 新米と年米ニノ十日 詩ニノ十日
 酒日おまニノ十日 尾越の鴨日ニノ十日 網代ニノ十日
 振ニノ十日 霧毛お霧の時 肌さびき 踏ニノ十日
 栗ニノ十日 栗と心ニノ十日 秋ニノ十日 秋ニノ十日 冬ニノ十日
 泣ニノ十日 秋ニノ十日 秋ニノ十日 秋ニノ十日 冬ニノ十日

き冬とまの 秋ニノ十日 秋ニノ十日
 後 冬ニノ十日 の秋 柳ニノ十日 秋ニノ十日 九月ニノ十日
 借ニノ十日 借ニノ十日 の秋ニノ十日 送ニノ十日 借ニノ十日
 〇冬 律ニノ十日 檀ニノ十日 選ニノ十日 羽ニノ十日 音ニノ十日
 〇十月 小ニノ十日 妻ニノ十日 陽ニノ十日 月ニノ十日 應ニノ十日 待ニノ十日
 秋ニノ十日 送ニノ十日 他ニノ十日 一ニノ十日 日ニノ十日 送ニノ十日 秋ニノ十日 出ニノ十日 妻ニノ十日 送ニノ十日 菊ニノ十日 宴ニノ十日

達磨忌 十日 十夜の会 六日

悪逆忌 六日 下元 十五日 開山忌 五日

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

あまのついで忌 十六七日 大社の祓 祓 祓の

八月の死日 冬 初日 春 初日 八月初日 八月初日

莖菜 莖引 莖まき 初 初 初

氷 今 待 氷 氷 氷 寒 寒

糸 糸 細代 糸 糸 糸 糸

魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚

鴨 鴨 鴨 鴨 鴨 鴨 鴨

鯉 鯉 鯉 鯉 鯉 鯉 鯉

海 海 海 海 海 海 海

綿 綿 綿 綿 綿 綿 綿

紙 紙 紙 紙 紙 紙 紙

雨 雨 雨 雨 雨 雨 雨

十一月 十一月 十一月 十一月 十一月 十一月 十一月

宮 宮 宮 宮 宮 宮 宮

唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中

唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中

唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中 唐の官中

山科祭ヤシケ 本野祭ホンノ 上申ウヘノ 春日カスガ
糸イト 當麻祭タマノ 大系野祭オホケイノ 中子日ナカコノヒ
吉田祭ヨシダ 日吉祭ヒコシ 中辰ナカツチ 里神サトノカミ
豊明節會トヨアカサガヒ 中辰ナカツチ 里神サトノカミ
日蔭の系ヒカゲノケイ 小忌夜コノノヨ
あさひの祭アサヒノマツリ

を燎ヒキ 神カミ 吹フク 空ソラ
十三トウサン 大作オホサキ 仲ナカ 空ソラ
佛ブツ 吹フク 聖ホウ 氷ヒメ
三サン 佛ブツ 吹フク 聖ホウ 氷ヒメ
佛ブツ 吹フク 聖ホウ 氷ヒメ

水の名 龍水ささる 冬玉梅 水仙

花 菫 根深 梅 菊 湯の衆り

香 麝香 檀 木の香の香のわらわら 香さるひ

名 琴とささふ とくま 燗香

とりおちら草 力草 能 香 匠 日

猪 鯨 流く 物 餅 日 鯨 日

鶯 石花 日 ひび 日 あらぐら 日 花の

たき 日 香 日 網 貫 能 冬 香 日

の 柳 川の 香 中よ 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

ありく 秋 っ へ せ 香 草 枝 の 後 志 香 置

○ 十二月 月 三 香 日 梅 香

し子 の 報 日 佛 香 十九日 かつけ 綿

五子^{カミゴ}の^サ日^ヒ 河豚^{カマツ}汁^{ジュ}日^ヒ 菜^ナ喰^ク日^ヒ 子^コの^ノ日^ヒ
 曝^{ササレ}日^ヒ 年^{トシ}ご^ゴの^ノ日^ヒ 年^{トシ}ご^ゴの^ノ日^ヒ 曝^{ササレ}日^ヒ 曝^{ササレ}日^ヒ
 子^サ梅^{バイ} 寒^{カシ}梅^{バイ}日^ヒ 臘^{ラウ}坊^{バウ}日^ヒ 梅^{バイ}の^ノ梅^{バイ} 子^コの^ノ日^ヒ
 此^{コノ}梅^{バイ} 孟^{マウ}字^ジ竹^{チク} 筍^{タケノコ}あり
 元禄^{ゲンロク}四^シ辛^{シン} 未^ミ年^{ネン}三^{サン}月^{ゲツ}日^{ニチ}
 洛東^{ラクトウ}書^{ショ}坊^{バウ} 中^{チュウ}西^{セイ}卯^{ボウ}兵^{ヘイ}衛^{エイ}版^{バン}
 神^{カミ}石^{イシ}三^{サン}



